
駒岡清掃工場更新事業
落札者決定基準

令和元年8月1日

札幌市

駒岡清掃工場更新事業 落札者決定基準

目 次

第1章 落札者決定の手順	1
1 落札者決定基準の位置づけ	1
2 決定の手順	1
第2章 参加資格審査	3
1 参加資格要件の項目	3
第3章 提案審査	4
1 提案書の基礎審査	4
2 提案書の定量化審査	4
3 開札及び入札価格の確認	6
4 入札価格の定量化審査	6
5 総合評価値の算定方法	6
第4章 提案書の定量化審査において審査する点	7
第5章 提案書に関するヒアリング	10
第6章 審査結果等の公表	11

第1章 落札者決定の手順

1 落札者決定基準の位置づけ

駒岡清掃工場更新事業（以下「本件事業」という。）を実施する事業者は、新清掃工場の設計・建設及び運営・維持管理に係る専門的な知識やノウハウを有することが必要となるため、落札者の決定に当たっては、入札価格だけでなく、提案内容によって落札者を決定する総合評価一般競争入札を採用する。

この「駒岡清掃工場更新事業 落札者決定基準」（以下「落札者決定基準」という。）は、札幌市（以下「本市」という。）が本件事業を実施する事業者の募集及び落札者の決定を行うに当たって、入札に参加しようとする者を対象に交付する入札説明書と一体のものである。

落札者決定基準は、総合評価一般競争入札により落札者を選定するに当たって、要求水準書等の内容を踏まえ、入札参加者から提出された提案書等を客観的に評価する基準、方法等を示し、入札参加者の行う提案に具体的な指針を与えるものである。

2 決定の手順

本件事業における落札者の決定は、総合評価一般競争入札方式に基づき、2頁の図に示す手順で実施する。

(1) 参加資格審査

本市は、提出された参加資格審査申請書により、入札説明書に記載の入札参加者の備えるべき参加資格要件（以下「参加資格要件」という。）を満たしていることを確認する。なお、参加資格要件を満たしていることが確認できない場合は失格とする。

(2) 提案審査

① 提案書の基礎審査

本市は、提案書等に記載された内容が、落札者決定基準に示す基礎審査項目を満たしていることを確認する。基礎審査項目について1項目でも満たさないことが確認された場合は失格とする。ただし、市が軽微な不備・不足と考えるものにあつては個別に事業者を確認し、提案書全体に影響を及ぼすような重大な問題が無く、部分的な訂正や対応の確認のみで問題ないと市が判断したものについてはその限りでない。

② 提案書の定量化審査

駒岡清掃工場更新事業者選定委員会（以下「委員会」という。）は、提案書に記載された内容について、落札者決定基準に示す審査基準及び得点化方法に従って評価する。

③ 開札及び入札価格の確認

本市は、入札書に記載された入札価格（消費税及び地方消費税を含まない入札価格）が入札書比較価格（消費税及び地方消費税を含まない予定価格）を超えていないことを確認する。この結果、入札価格が入札書比較価格を超える場合は失格とする。

④ 入札価格の定量化審査

委員会は、入札価格について、落札者決定基準に示す得点化方法に従って評価する。

⑤ 総合評価値の算定

委員会は、提案書及び入札価格の定量化審査における得点を合計し、総合評価値を算出する。

⑥ 落札候補者の選定

委員会は、総合評価値が最も高い提案を行った入札参加者を落札候補者として選定する。

⑦ 落札者の決定

本市は、委員会の審査結果を踏まえ、落札者を決定する。ただし、委員会が2以上の落札候補者を選定した場合は、当該落札候補者によるくじ引きにより落札者を決定する。

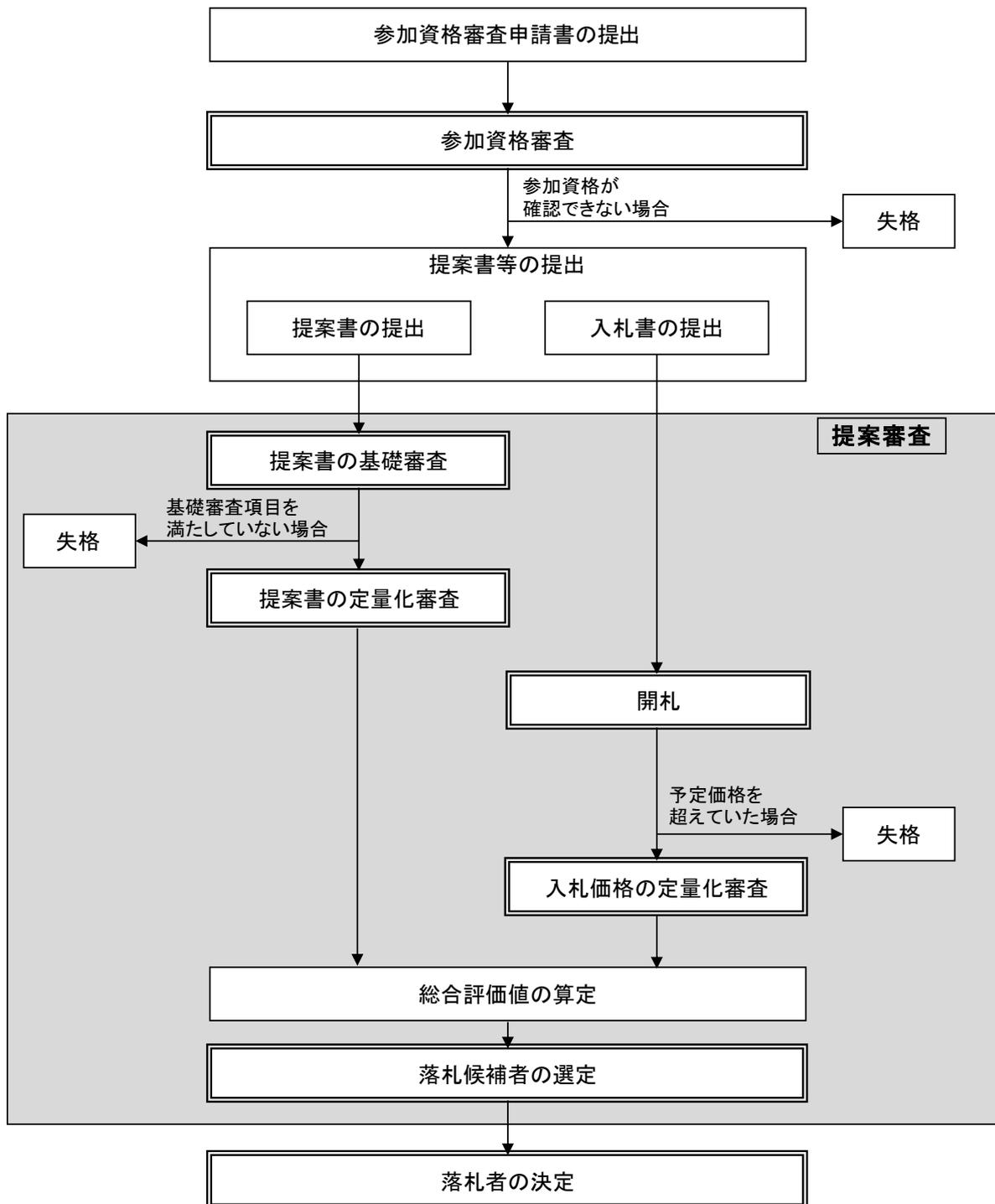


図 1-1 落札者決定の手順

第2章 参加資格審査

1 参加資格要件の項目

参加表明書と同時に提出される参加資格審査申請書を確認する。参加資格審査基準日は、参加資格審査申請書受付最終日とする。

詳細については、入札説明書「第3章 入札参加者に関する条件等」(P8)を参照のこと。

第3章 提案審査

1 提案書の基礎審査

(1) 提案書等の確認

提出された提案書等がすべて揃っていることを確認する。

(2) 提案書の基礎審査

提案書に記載された内容が、次に掲げる基礎審査項目を満たしていることを確認する。

- ① 提案書の内容が要求水準書に示す要求水準を満たしていること。
- ② 入札説明書及び様式集に示す提案書の作成に関する条件について違反のないこと。
- ③ 提案書全体について、同一事項に対する2通り以上の提案又は提案事項間の齟齬、矛盾等がないこと。

2 提案書の定量化審査

(1) 提案書における審査項目及び配点

提案書の定量化審査の配点、審査基準及び得点化方法については、本市として目指すべき本件事業の姿「地域と一体化したエネルギー供給拠点の整備と地域に貢献する機能の再整備」の実現に向けて、本市が本件事業に対して民間の創意工夫の導出を期待する度合いにより設定した。

したがって、審査項目は、本市が民間に創意工夫を期待している事項であり、配点はその重みを示すものである。

審査項目及び配点については、次の表のとおりである。なお、各審査項目における審査基準等の詳細については、「第4章 提案書の定量化審査において審査する点」を参照のこと。

表 3-1 審査項目及び配点

審査項目				配点 (60点)
大項目	中項目	小項目	細目	
1	設計・建設業務及び運営・維持管理業務に関する事項			45点
	(1) 環境に対して安全、安心を約束する施設			26点
	ア 環境保全		① 地域の環境保全	2点
	イ 施設の安心、安定稼働		① 基本性能の維持	5点
			② 処理システムの信頼性	5点
			③ 他施設との連携	2点
			④ 日常の運営・維持管理	2点
	ウ 施設の安全性		① トラブルの未然防止、事後対策及び非常時の安全確保	2点
	エ 配置動線計画		① 屋外配置動線計画	2点
			② 屋内配置動線計画	4点
	オ 施工計画		① 施工計画	2点
	(2) 高効率なエネルギー回収を行う施設			8点
	ア 高効率なエネルギー回収		① 発電効率及び余剰電力量	5点
	イ 省資源、省エネルギー		① 省資源、省エネルギー	3点

審査項目				配点 (60点)
大項目	中項目	小項目	細目	
	(3) 地域への融和に貢献する施設			11点
	ア	周辺環境に融和するデザイン	① 周辺環境に融和するデザイン	3点
	イ	環境学習計画	① 見学者対応及び環境学習計画	4点
	ウ	災害復興拠点	① 災害対応力の強靱化	4点
2	事業計画に関する事項			15点
	(1) 信頼性の高い運営管理体制			10点
	ア	運営管理体制	① 運営管理体制・人員配置計画	4点
	イ	事業の継続性の担保	① 事業収支計画、運営事業者への協力体制、バックアップ体制	3点
	ウ	リスク管理方針及びセルフモニタリング	① リスク管理及びセルフモニタリング	3点
	(2) その他			5点
	ア	地域への貢献	① 市内企業や資材調達、市民雇用の提案	3点
	イ	その他の提案	① 本事業への有効性	2点

(2) 技術提案に関する得点化方法

- ① 提案を求めている審査項目においては、次の5段階評価による得点化方法により得点を付与する。

表 3-2 審査基準及び得点化方法

評価	審査基準	得点化方法
A	特に優れている	配点×1.00
B	AとCの中間程度	配点×0.75
C	優れている	配点×0.50
D	CとEの中間程度	配点×0.25
E	優れているとは認められない／要求水準を満たす程度	配点×0.00

- ② 各審査項目の評価点については、次の算定式により、各委員が個別に行った評価の平均値とする。なお、平均値を求める際は、小数第3位を四捨五入した値とする。

- ③ ②の結果をもとに、各入札参加者の得点の合計を算出する。

算定式【技術提案の得点算定式】

$$\left(\begin{array}{c} \text{当該入札参加者の} \\ \text{技術提案に関する得点} \end{array} \right) = \frac{\sum (\text{各審査項目の配点} \times \text{審査基準})}{\text{委員人数(6名)}}$$

3 開札及び入札価格の確認

提出された入札価格が入札書比較価格を超えていないことを確認する。なお、入札価格の確認のための開札は、提案書の定量化審査終了後、入札説明書に定めた方法により実施し、入札価格が入札書比較価格を超えていない提案のみ入札価格の得点化を行うこととする。

4 入札価格の定量化審査

(1) 入札価格に関する得点化方法

入札価格について、次の算定式により得点を付与する。なお、得点は、小数第3位を四捨五入した値とする。

算定式【入札価格の得点算定式】

$$\left(\begin{array}{c} \text{当該入札参加者の} \\ \text{入札価格に関する得点} \end{array} \right) = 40\text{点} \times \left[1 - 1 \times \left(\frac{\text{入札価格}}{\text{予定価格}} \right)^{10} \right]$$

5 総合評価値の算定方法

「2 提案書の定量化審査」、「4 入札価格の定量化審査」により算出した各入札参加者の得点から、次の算定式により、各入札参加者の総合評価値を算出する。

算定式【総合評価値の算定式】

$$\left(\begin{array}{c} \text{当該入札参加者の} \\ \text{総合評価値} \\ \text{(満点:100点)} \end{array} \right) = \left(\begin{array}{c} \text{当該入札参加者の} \\ \text{技術提案に関する得点} \\ \text{(満点:60点)} \end{array} \right) + \left(\begin{array}{c} \text{当該入札参加者の} \\ \text{入札価格に関する得点} \\ \text{(満点:40点)} \end{array} \right)$$

第4章 提案書の定量化審査において審査する点

委員会は、各審査項目について、審査基準に基づき審査を行い、その内容に応じて、5段階評価により得点を付与する。なお、各項目の審査の視点は次の表のとおりである。

表 4-1 提案書の定量化審査において審査する点

審査項目			No.	審査の視点	配点 (60点)
大項目	中項目	小項目			
1 設計・建設業務及び運営・維持管理業務に関する事項					45点
(1) 環境に対して安全、安心を約束する施設					26点
ア	環境保全	① 地域の環境保全	1	・排ガス基準を確実に遵守するための対応について、 <u>実効性と妥当性</u> を期待する。 ・騒音、振動、悪臭について、プラント設備の稼働に伴う環境影響要因を適切に把握し、環境影響要因の低減案及び周辺環境への影響を極力防止するための方策の <u>実効性と妥当性</u> を期待する。	2点
イ	施設の安心・安定稼働	① 基本性能の維持	2	・施設の維持を考慮した点検、検査、補修、予防保全について、 <u>計画性と妥当性</u> を期待する。 ・30年間にわたる施設の使用を前提とした維持管理計画及び運営・維持管理業務終了後5年間にわたり、大きな基幹改造・修繕が必要とならないようにするための、 <u>計画的かつ実行性のある点検・維持・補修の方法と内容の確立</u> に期待する。	5点
		② 処理システムの信頼性	3	・人口減少や3Rの推進、施策や法改正に伴うごみ量の減少や、災害廃棄物の発生等に伴うごみ量の変動に対応できる設計面、運営面での <u>計画性と妥当性</u> を期待する。 ・焼却施設において、要求水準書で示したごみ質に対応可能なシステム構築と、そのごみ質変動に対して良好な燃焼状態を維持できることについて、 <u>計画性と実効性</u> を期待する。 ・焼却施設、破砕施設において、安定・安全運転に対する運転管理方法の <u>妥当性</u> を期待する。 ・破砕施設において、要求水準書で示した処理対象物を確実に処理し、資源物を回収するための処理システム（前処理作業、破砕設備、選別設備）について、 <u>計画性と実効性</u> を期待する。 ・札幌市災害廃棄物処理計画に基づいた災害廃棄物の処理について、設計面及び運営面からの <u>計画性と妥当性</u> を期待する。	5点
		③ 他施設との連携	4	・駒岡清掃工場以外の焼却施設、破砕施設での緊急時の対応等による一時受入処理に伴う車両の受入台数の増加、受付管理や搬入管理の柔軟性を期待する。	2点
		④ 日常の運営・維持管理	5	・日常の維持管理で実施する外構・植栽・調整池・造成法面等の管理、清掃（頻度、箇所）、処理施設内の整理整頓等について、 <u>計画性と妥当性</u> を期待する。 ・運営・維持管理期間中における搬入車両の混雑発生時、悪天候時、夜間のトラブル発生時等における対応について、 <u>計画性と妥当性</u> を期待する。	2点
ウ	施設の安全性	① トラブルの未然防止・事後対策及び非常時の安全確保	6	・災害、緊急時において、迅速かつ確実に対応できるような事業継続計画の <u>妥当性</u> を期待する。 ・緊急避難時における見学者、施設利用者及び作業員の安全確保方策について、計画の <u>妥当性</u> を期待する。 ・安全管理に関し、設備の安全性確保、人の不安全行動への対応及び管理組織の編成について、設計面、運営面での <u>計画性と妥当性</u> を期待する。 ・破砕施設において、爆発事故対策や火災に対して、過去の事例、リチウムイオン電池等によるトラブルへの対策を含め、プラント、建築等本施設全体で、適切かつ万全な予防保全、検知、事後対処方法について、 <u>計画性と妥当性</u> を期待する。 ・トラブル・不具合に対する対応（協議、確認方法、費用負担）について <u>妥当性</u> を期待する。	2点
エ	配置動線計画	① 屋外配置動線計画	7	・敷地条件を踏まえた全体配置計画に対し、 <u>計画性と妥当性</u> を期待する。 ・車両と車両、車両と人に対する安全確保に対し、 <u>計画性と妥当性</u> を期待する。 ・車両動線の構築及び場内誘導・サイン計画に対し、 <u>計画性と妥当性</u> を期待する。 ・多様な搬入・搬出車に対し、安全かつ円滑な計量システムの構築を期待する。	2点
		② 屋内配置動線計画	8	・施設における受入供給設備、待車、貯留、選別、移送、投入作業等の配置動線計画に対し、安全性、作業性及び合理性を期待する。	4点
オ	施工管理	① 施工計画	9	・確実な工期履行のための施工計画を期待する。	2点
(2) 高効率なエネルギー回収を行う施設					8点
ア	高効率なエネルギー回収	① 発電効率及び余剰電力量	10	・高い発電効率、消費電力の削減、効率的な操炉計画による余剰電力量の最適化を期待する。 ・年間を通じた安定的かつ効率的な発電計画について <u>妥当性</u> を期待する。	5点
イ	省資源、省エネルギー	① 省資源、省エネルギー	11	・施設の稼働に伴う二酸化炭素排出の抑制について、 <u>計画性と実効性</u> を期待する。 ・省資源に関する低環境負荷材料の使用の考え方（使用品目、量等）について優れた提案を期待する。 ・省エネルギーに寄与する機器の採用等の考え方及び想定される効果について優れた提案を期待する。 ・建築の断熱性能の向上及び太陽光発電等の再生可能エネルギーの活用について、 <u>計画性と実効性</u> を期待する。	3点
(3) 地域への融和に貢献する施設					11点
ア	周辺環境に融和するデザイン	① 周辺環境に融和するデザイン	12	・周辺環境に融和するデザインを期待する。 ・周辺からの景観に対し、季節を通じた緩衝帯としての機能確保を目指した緑地の確保を期待する。 ・保全緑地の整備について、盆踊りなどの地域活動やウォーキング等の健康増進を目的とした利用なども可能な計画を期待する。 ・緑化の内容及び樹種の選定について、周辺環境に調和した計画を期待する。	3点
イ	環境学習計画	① 見学者対応及び環境学習計画	13	・環境教育に関する校外学習として訪れる小中学生の他、訪れる様々な見学者に対応した環境学習プログラム、見学ルート（見学者動線）、引率・説明方法、見学窓の配置等について、 <u>計画性と具体性</u> を期待する。 ・見せ方の工夫、見学者が再訪したくなるような工夫を期待する。 ・環境啓発イベントやワークショップ等の対応に優れた提案を期待する。	4点
ウ	災害復興拠点	① 災害対応力の強靱化	14	・施設自体の強靱性に配慮した設計面及び運営面の工夫を期待する。 ・用水、用役等の貯留容量の設定や備蓄、調達先の確保等について、 <u>計画性と妥当性</u> を期待する。 ・大規模災害発生時における施設の安全な停止と早期の再稼働に向けたシステム構築に対し、 <u>実効性</u> を期待する。 ・大規模災害発生時、一時的な避難者の受入れ、飲料水、非常食の備蓄及び情報提供等地域防災への貢献を期待する。	4点

表 4-1 提案書の定量化審査において審査する点（前頁続き）

審査項目				No.	審査の視点	配点 (60点)
大項目	中項目	小項目	細目			
2 事業計画に関する事項						15点
(1) 信頼性の高い運営管理体制						10点
	ア	運営管理体制	① 運営管理体制・人員配置計画	15	・組織体制及び運営管理体制において、各々の役割分担が明確であり、人員配置の工夫及び効率化を期待する。 ・運営・維持管理期間開始時及び運営期間中における人員の教育計画について、 <u>実効性</u> を期待する。	4点
	イ	事業の継続性の担保	① 事業収支計画、運営事業者への協力体制、バックアップ体制	16	・運営・維持管理期間（20年）にわたる安定した事業収支計画を期待する。 ・代表企業等による運営事業者に対する支援体制及び支援策等（人的支援・技術的支援・財政的支援）について、 <u>実効性</u> を期待する。	3点
	ウ	リスク管理方針及びセルフモニタリング	① リスク管理及びセルフモニタリング	17	・リスク顕在化確率及び顕在化時の影響の極小化に考慮するリスク管理方針及びリスク管理体制に <u>計画性</u> と <u>実効性</u> を期待する。 ・セルフモニタリングの実施内容、頻度、報告内容等について、 <u>計画性</u> と <u>実効性</u> を期待する。 ・付保する保険内容について <u>妥当性</u> を期待する。	3点
(2) その他						5点
	ア	地域への貢献	① 市内企業や資材調達、市民雇用の提案	18	・市内企業の活用や市内調達を考慮した提案を期待する。 ・市民の雇用に配慮した提案を期待する。	3点
	イ	その他の提案	① 本事業への有効性	19	・最新技術の導入等その他本事業にとって有効な提案を期待する。	2点

「計画性」：課題、原因、事例等の分析から提案内容を導いた過程や考え方が適切であるかを判断する

「実効性」：求めた性能、機能、方策について、実際に効果があるかを判断する

「妥当性」：提案内容そのものが適切かどうかを判断する

第5章 提案書に関するヒアリング

委員会は、提案書の審査及び評価を行うにあたり、入札参加者に対してヒアリングを行う。
ヒアリングの開催要領の詳細は、別途通知する。

第6章 審査結果等の公表

審査結果等については、公表を行うとともに、入札参加者においては個別に通知する。